



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和7年10月15日発行 第8号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 校長 西田 良児



校内外の活動の充実

副校长 宮原 興龍

10月に入り、暑かった夏の日差しも嘘のように、秋らしい涼しい風が吹く季節となりました。児童・生徒は、校内外での学習活動に元気に取り組んでいます。

先月末をもって、今年度の水泳指導期間を安全に終えることができました。暑かった夏ですが、ほぼ中止もなく笑顔でプールに入っていた姿が印象的です。また、各学部の宿泊行事や校外学習などが9月、10月に続いており、子供たちの思い出に残る行事になるよう支援していきます。御協力いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

さて、本日は学校での取組等について2つ紹介します。

一つめは、9月26日（木）に実施した、第2回学校運営連絡協議会についてです。この協議会は、地域の関係機関の代表者や保護者代表、有識者等が委員となり、年3回、学校の運営に関する意見交換や教育活動の観察、学校評価等について協議を行う会議です。今回の意見交換では、地域関係機関との連携や福祉避難所について、小学部からのキャリア教育などの話題が出ました。一つ一つの積み重ねが地域とのつながりを大きくし、また子供の成長を促すことになりますので、日々の教育活動を大切にして取り組んでいきます。今後、12月には保護者の皆様にも学校評価のアンケートをお願いする予定になっていますので、学校の教育活動について御意見等いただければと思います。よろしくお願いします。



二つめは、10月6日（月）に実施した、インクルーシブな学びプログラムについてです。今回は、Ⅱ部門中学部1年で実施し、みんなで楽しくダンスを行いました。「NPO法人みんなのダンスフィールド」さんをお迎えして、本校多目的室でインクルーシブダンスワークショップを開催しました。参加した生徒たちからは、「楽しかった」「皆で踊れてうれしかった」などの声がありました。それぞれの生徒たちが、ダンスを通して自分を表現していました。

最後に、これから periods、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期になります。健康管理には十分に気を付けていただければと思います。また、衣替えの時期もあります。ぜひお子様と一緒に衣替えの準備をしてみてください。一つ一つできることを増やしていくことがお子様のキャリア形成につながります。どうぞよろしくお願いします。